

本日ここに主要地方道「木津信楽線」瓶原大橋の開通式を開催するにあたり、主催者といたしまして一言ご挨拶申し上げます。

本日、お集まりの皆様方には、平素から町行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓の皆様方には公私ご多忙の中、本日の開通式に御臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、主要地方道木津信楽線は和束町を東西に横断し、通勤・通学・買い物など本町の経済・生活を支える生命線とも言える重要な道路であります。

昭和61年に発生した豪雨災害では、本町に通じる主要道路が夜間の大雨が原因の土砂崩れで寸断され、町外とのアクセスが一時不通となりました。この木津信楽線も不通となりましたが京都府の懸命な復旧作業により、夕方には通

行可能となったことは記憶に新しいところです。

以来、本町と隣接市町村とを結ぶ主要地方道の整備は、本町の有事対策の最優先課題となり、京都府のご理解もあって現在着々と整備いただいているところであります。

また、本町のまちづくりとして和束町第4次総合計画では「茶源郷和束」を旗頭に、地場産業の和束茶の販売・PRはもとより、観光資源としての茶畑景観やグリーンツーリズムを生かす体験型観光産業にも取り組み、平成32年度の定住人口を4300人、交流人口を25万人としております。

本日は正にその玄関口である瓶原大橋が新しく整備され、木津川市と和束町が力強く繋がったことは、本町のまちづくりのおおきな一歩として、大変うれしく思います。

そして、瓶原大橋の整備をはじめ、国道163号線井平尾交差点から奥畑バス停までの区間の整備においては、地元関係者の皆様や地権者の方々の絶大なご理解とご協力の賜物と、お礼申し上げますとともに残された区間の整備にお

いても、木津川市の地権者の方のご理解とご協力を賜りますようこの場をお借りいたしましたしてお願い申し上げます。

最後になりましたが、地域の振興と発展、また京都府民の生活が豊かになりますよう、京都府のこれからの交通基盤の整備をご期待するとともに本日出席の皆様方のご健康とご多幸を祈念いたしまして誠に簡単措辞ではございますが主催者のご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年七月二十四日

和束町長 堀 忠 雄